

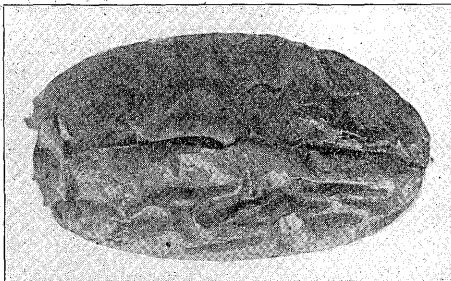
んあぜおとぎり (var. *nigrum*) トシタ。あぜおとぎりハ又こおとぎり *H. hakonense* ニ甚ダ近イガ花柱ノ比ガ違フシ、又あぜおとぎりハ蒴米ガ圓ツコイシ蒴ガ幅廣クスグ區別出來ル。

以上述べた如クさはおとぎりガ地方的ニ變化シテキルモノ九州西部デながさきおとぎり、臺灣デたいわんおとぎり、屋久島デやくしまおとぎり、黒腺ガ入ツテ來ルモノニいはておとぎり、やくしまおとぎり明カニ雜種のデアルモノまるばおとぎりソレヨリヤ、固定シテみやこおとぎり、ひかげおとぎり、たこあしおとぎり、あぜおとぎりデくろてんあぜおとぎりハ更ニおとぎりさうニ近ク、あぜおとぎりハこおとぎり *H. hakonense* トノ關係ヲ思ハセ、又おとぎりさうガさはおとぎりに近ヅイタモノニ *H. erectum* var. *deviatum* ガアル。歐洲デハ實際雜種ヲ作ツテ研究サレ又ツノ種ノ變化性ヲ克明ニ檢シタモノアリ細胞學的ニモ知ラレタモノアルモ我國デハ *Hypericum* ニ關スル限りカ、ル研究ナク、上述ノ如ク雜種ナラントスルモ想像ニ過ギヌガ種類間又變種間ノ關係ガ幾分ナリトモ明カニナレバ幸デアル。最後ニ筆者ノ研究ヲ御指導下サル中井先生ニ感謝致シマスト共ニ標品ヲ研究スルヲ許サレマシタ北海道、京都、臺北ノ各帝國大學ノ諸先生、標品ヲ送ラレル諸氏ニ御禮ヲ申シ述ベル次第デス。

## 中華ノ稀觀生藥雜記 (其二)

石 戸 谷 勉

T. ISHIDOYA: Miscellaneous Notes on Chinese Materia Medica (II)

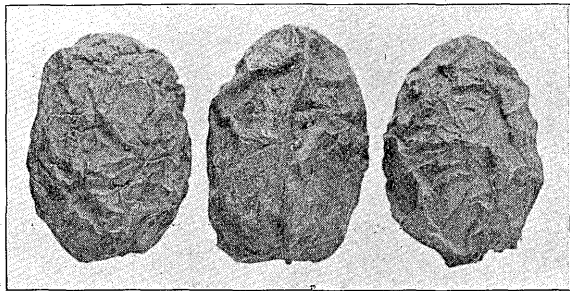


第 6 圖 *Phoenix dactylifera* ノ實ヨリナル藏紅棗 (× ca. 1)

11) 藏紅棗 朝鮮、滿洲ノ藥舗ニ棗ヲ求ムルトソノ生藥ハ常ニ *Zizyphus* ノ果實ヨリナルモノデ、紅棗ト稱スル品ハ特ニ果皮ニ光滑ガアリ、樹上ニ永ク成熟セシメタモノダト云ハレテキル。余ガ昨夏蒙疆ノ包頭ノ藥舗カラ來リタルモノニ藏紅棗ト稱スルモノガアル。西藏カラ來タ棗ト云フ義デアル。

檢スルニ大サハ朝鮮ノ街ニ售ル棗ノ約二倍大アリ、果梗ノ基ニ二重ノ蒂ヲ有シ、種子ハ長橢圓形デ一側ニ縦ニ溝ガアリ、果肉ハ甘味ガアル。之ハなつめやし(*Phoenix dactylifera*)ノ果實ノ乾材デアル。本草綱目拾遺第7卷ニ朱排山柑園小識ノ記ヲ引イテ『藏棗ハ西藏ヨリ來ルモ實ハ天竺ニ産スルモノデ長サ2寸許、形、味ハ南棗ニ似ル、氣ヲ補フコト人參ニ同シ、其ノ核蠶蛹ノ形ニ似テ仁無シ云々』トアル(第6圖參照)。

12) 酸棗 朝鮮ノ漢方藥局ニコノ名ノ生藥ヲ求ムルドさねぶとなつめ(*Zizyphus vulgaris* v. *spinosa*)ノ種仁カラ成ル品ヲクレル。滿洲ニ於テモ同様デアル。余ハ昨夏張家口、包頭、多倫ノ藥肆カラ求メ來リタル酸棗ハ外見烏梅ノ如ク、果肉ハ強キ酸味アリ、中ニ橢圓形ノ木質ノ核ヲ有シ、ソノ核ノ項ニハ圖ニ示ス如ク5個ノ穴ハ放射狀ニ列ンデキル、種仁ノ肉ハ胡桃肉ノ如キ臭味ガアル。之レ即チ閩書南產志上卷ニ記スルトコロノ酸棗ニシテ漆科ノ*Spondias axillaris*ノ果實デアル。コノ植物ハ廣東、



第7圖 *Spondias axillaris* ノ果ヨリナル酸棗(×1)

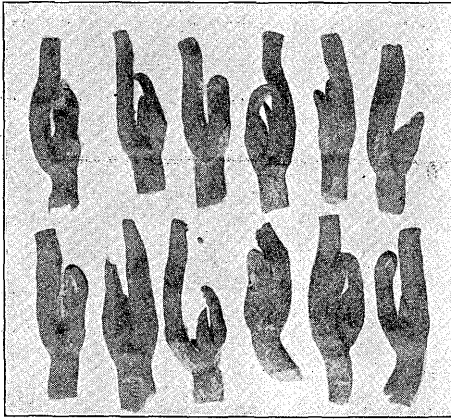
湖南、湖北、雲南、四川 地方ニ産シ *Plantæ Wilsoniæ* II, p. 173ニ支那名ヲ Hsuan Tsao ト記シテアリ、松村任三博士ハ之ニ漢字ヲ酸棗ト當テテ植物名彙前編ニ收載シテキル。南產志ニコノ棗ハ福州、建寧、福寧ニ産シ、糕トナスト記シテアル、北支ノ藥舖ニ於テハコノ藥物ヲ廣棗又ハ廣酸棗ト呼ンデキル(第7、8圖參照)。



第8圖 *Spondias axillaris* ノ種殼ヲ項ヨリ見ル(×ca. 3/2)

13) 蓮薏 張家口ノ藥店カラ余ノ帶來セル品ニ蓮芯ト稱スル品ガアル、檢スルニソレハ蓮子ノ中央ニ存スル胎芽ヲ採リ集メタモノデアル。コレ本草ノ云フトコロノ蓮薏ニシテ、朝鮮ノ藥舖ニハ見出シタコトハナイ(第9圖參照)。

14) 大皂子 蒙疆ノ藥肆ニコノ名ノ生藥ヲ見出スコトガアル。朝鮮、内地



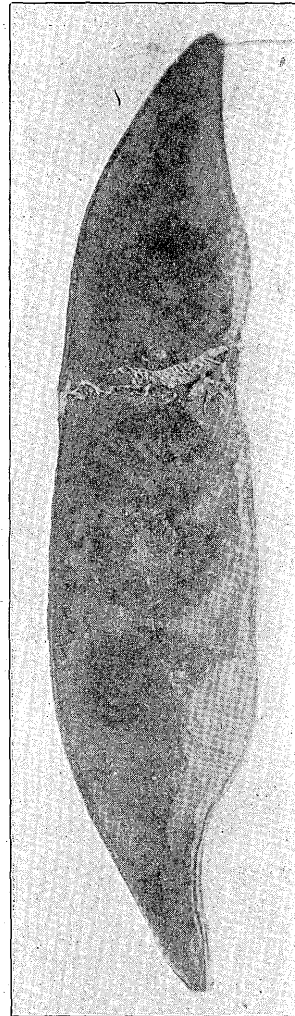
第 9 圖 蓮薏 (×5)

ノ皂莢ニ比シ肉ハ著ルシク厚ク、弓形ニ曲ラズ、眞直デ、長サハ 15 cm 以上、幅 3 cm ニ達シテキル、之レ恐クハ *Gleditschia sinensis* ニ屬スルモノデアラウ (第 10 圖參照)。

15) 黃芩 朝鮮、滿洲ノ藥舖ニ售ル黃芩ハこがねばな (*Scutellaria Gaicolensis*) ノ地下部デアル。余ハ包頭ノ藥舖カラ求メ來リタル黃芩ハ前者ニ比シ質軟ク、細ク、斷面ノ狀ヲ異ニスル。之レ蒙疆ノ野ニ普通ニ生ズルトコロノきばなのわうごん (*Scutellaria viscidula*) ノ地下部カラ成ルモノデアル。コノ植物ハ花ノ黃色デアルコト、葉ハ細長ク粘リ氣ノアルコトニヨリこがねばなニ容易ニ區別スルコトガ出來ル。

16) 巨勝子 本草ヲ按ズルニ巨勝子ノ名ハ胡麻ノ異名トシテ見出サレル。余ノ張家口ヨリ求メ來レル生藥ニ巨勝子ト稱スルモノアリ。檢スルニ胡麻即チ *Senanum indicum* ノ種子デハナイ。精檢スルニ明ニ菊科ノ瘦果ニ屬スルモノデ、恐クハ *Mulgedium* ニ屬スルモノデアラウ。

17) 殼檳榔 張家口ノ藥店ヨリ求メ來リタル生藥ニコノ名ノ品アリ。圖ノ如ク二重ノ蒂ヲ有シ、中ニ暗褐色ノ仁ヲ藏シテキル。之レ檳榔 (*Areca Catechu*) ノ未熟ノ果ノ乾材デアル。中ノ仁ハ未熟ナルヲ以テ、檳榔子ノ形態ヲナサズ。



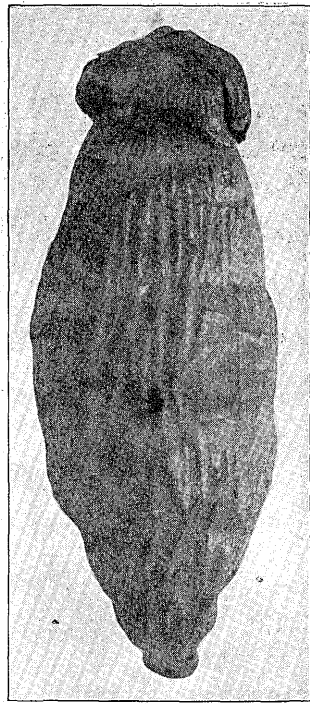
第 10 圖 大皂子 (×1)

藥舖ニ於テハコノ品ニ棗玉ノ名ヲ附シテ售ツテキル(第 11 圖參照)。

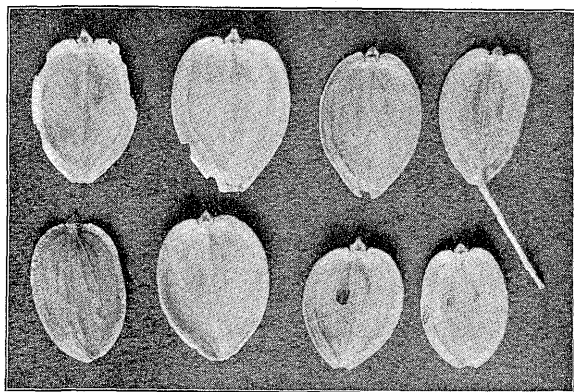
18) **黃眼子** 滿洲ノ藥舖ニ鳳眼子ト稱スル生藥ヲ見ルコトガアリ、ソレハ栲(*Ailanthus*)ノ翅果ヲ採リ集メタモノデアル。蒙疆ノ藥舖ヲ訪レルト右ノ名ニ似タル黃眼子ト稱スル生藥ヲ見出スコトガ出來ル。形ハ圖ノ如ク、微カニ黃味ヲ帶ビ、一面ニ分脈ヲ有シ、4 條ノ暗紅ノ條紋ヲ有シ、嚙ムニ繖形科特有ノ油臭ガアル。コレハ繖形科ノはなうど(*Heracleum lanatum*)ノ果ヲ採リ集メタモノデアル。コノ植物ハ蒙疆地方デハ小五臺山ニ産スト云ハレテキル(第 12 圖參照)。

19) **枝子花** コレハ梔子花ノコトデ北支藥舖ヲ訪レルトくちなし(*Gardenia florida*)ノ花ノ乾材ヲ見出スヲ普通トスル。蒙疆ニ行ハル、枝子花ハコレト全ク異ナリ唇形科ノたちむしやりんどう(*Dracocephalum moldavica*)ノ全草ノ乾材カラ成ル。コレヲ嚙ムニ一種ノ薄荷ノ如キ味ガアル。

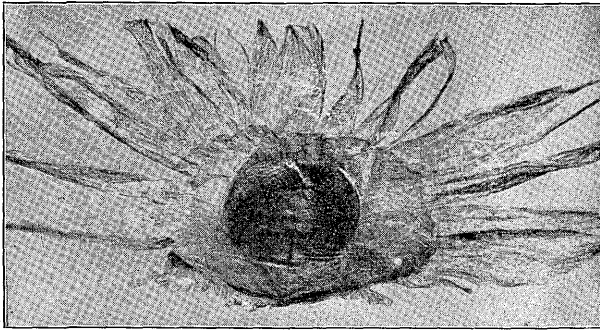
20) **玉蝴蝶** 張家口ノ藥舖ヨリ帶來セル生藥ニコノ名ノ品ガアル。檢スルニ本草綱目拾遺第 6 卷ニ記スルトコロノ木蝴蝶ニ當ルモノデアル、ソノ形狀ハ圖ノ如ク裂ケタル紙質ノ翅ヲ持ツテ居リ、ソノ構造ハきささげニ近似デアルノデ余ハサキニ之ヲ紫葳科ノモノト同定シタ。然ルニ今ハ故人デアル松田定久氏ハコノ生藥ノ本體ヲ闡明シ、大正



第 11 圖 殼檳榔 (×1)



第 12 圖 はなうど (*Heracleum lanatum*) ノ果ヨリナル黃眼子



第 13 圖 *Oroxyllum indicum* ノ種子ヨリナル玉蝴蝶 (×1)

5 年ニ植物學雜誌第  
360 號ニ *Oroxyllum  
indicum* ノ種子デア  
ルコトヲ述ベテキル  
(第 13 圖參照)。